

高校生法律講座

静岡県司法書士会

テーマ 『働くことについて、考えよう』

1. 司法書士として働く（司法書士の仕事の紹介を兼ねての自己紹介）

- ①不動産は、法務局という役所に様々な事項が記録されています。その不動産が売買や相続によって、名義が変わるときなどに、司法書士が代理人となって、法務局の手続をとることがあります。
- ②株式会社なども、法務局に様々な事項が記録されています。その会社を新しく設立したり、役員が変更になったりするときなどに、司法書士が代理人となって、法務局の手続をとることがあります。
- ③お年寄りの方などで、物忘れがひどくなったときなどに、ご本人の代わりに後見人などという代理人が契約行為などをするときがあります。後見人などに関する様々な事項は法務局に記録されています。後見人などを選ぶ際は家庭裁判所に申立てをしなければなりません。司法書士がその書類を作成したり、ときには自らが後見人などに選任されたりすることがあります。
- ④借金などが膨らんで債務整理手続をとる場合に、司法書士が代理人となって、借金の支払い方法の交渉をしたり、自己破産手続などでは裁判所に提出する書類を作成したりすることがあります。
- ⑤社長が給料を支払ってくれないなどの相談や、悪質商法に勧誘されて困っているなどの相談を受けて、場合によっては、代理人となって、ご本人の代わりに相手方と交渉したり、裁判手続をとったりすることがあります。
- ⑥その他

2. 働くことについて、考えよう

【これから社会に出る皆さんへ】

今日は、皆さんが働き始めるときに、最低限知っておいた方がよいことをいくつかの場面に分けて、お話します。自分が社会人になったときのことをイメージしながら、リラックスして聴いてください。

【登場人物】

高校を卒業して半年たった山田さんと鈴木さん。山田さんと鈴木さんの高校時代の先輩である井上さんが主な登場人物です。

山田さん（19才）



高校を卒業後、派遣社員としてA派遣会社に登録。B工場の製造ラインの作業員として、半年前からB工場に派遣されている。給料15万円（手取り13万円）が、A派遣会社から支払われている。

鈴木さん（19才）



山田さんと同じ高校を卒業後、大手100円ショップに正社員として勤務。接客を中心にパート社員とともに働いている。給料18万（手取り16万）が支払われている。

井上さん（21才）



山田さんと鈴木さんの高校時代の先輩。卒業後、司法書士の父の事務所を手伝いながら、司法書士試験の勉強をしている。

【事例】

山田さんは、高校を卒業してから半年経って久しぶりに先輩の井上さんと同級生だった鈴木さんと、街でばったり出会いました。喫茶店で、しばらく高校時代の思い出話で花が咲きましたが、次第にそれぞれの職場についての話になりました。

【派遣社員】

鈴木「最近、上司の早川さんが厳しくて参るんですよ…。仕事中にケータイのメールをチェックしていたら、ひどく怒られて、それから、接客姿勢がなっていないとか、商品の陳列の仕方が悪いとが目の敵にされちゃって…」

山田「僕も、よく工場長に注意されるよ。この前は、溶接の仕方が悪いって散々怒られちゃった」

鈴木「あれ？山田さんは、A派遣会社に勤めているでしょ。それでも、B工場の工場長に文句言われるの？そんな筋合いないんじゃないの？」

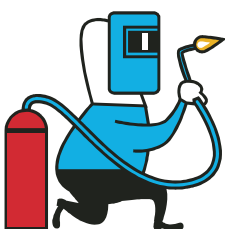
山田「そういえば、それもそうだなあ。先輩、何故だかご存知ですか？」

《井上さんの解説》

①通常の雇用契約と派遣契約について



②派遣社員の権利について



【パート社員】

山田「鈴木さんの会社は、パートもたくさんいるみたいだけど、鈴木さんは正社員なんでしょ。任される仕事は、かなり難しいの？」

鈴木「普段の仕事内容は、接客をしたり、商品を陳列したり、レジ打ちをしたりと、パート社員とほとんど一緒ですよ。だけど、新しく入ってくるパート社員に仕事を教えるのは、私たち正社員の仕事ですね」

山田「それはたいへんそう。だけど、正社員はボーナスや有給があるんだから、その分がんばらないとね」

鈴木「そういえば、パートの内田さんが来週法事で休みたいて言っていたなあ…。先輩、パートに有給とらせたら、まずいですよね？」

《井上さんの解説》

①正社員とパート社員の違いについて



②パート社員の権利について

【解雇と退職】

山田「そういえば、派遣会社の先輩の伊藤さんが遅刻ばかりしていたら、B工場からA派遣会社に苦情がいつちやって、たいへんだったよ。上司がものすごい剣幕で、『来週からは別の人間をB工場に送るから、おまえはもう首だ』って」

鈴木「それで、伊藤さんは納得したの？」

山田「私も、たまたまその現場にいたんだけど、伊藤さんと上司のものすごい言い合いで、伊藤さんも勢いで『こんな会社、私の方から辞めてやる』って言って帰っちゃって、それっきりみたい」

鈴木「そんな辞め方しちゃって、ちゃんと最後の給料出るのかなあ」

《井上さんの解説》

①解雇と退職の違いについて



②解雇予告手当について

【日雇い派遣】

井上「それにしても、二人ともすっかり見違えちゃったなあ。会社で相当鍛えられているんだろうね」

山田「そりゃあそうですよ。先輩は資格試験の受験勉強されているんですよね。やっぱりたいへんですか？」

井上「父の仕事を手伝いながらだから、楽じゃないよ。それに、司法書士の勉強をしていると知り合いから色々な相談事もされるからね」

鈴木「最近は、どんな相談があったんですか？」

井上「家をでて、一人暮らしを始めたんだけど、それまでの仕事を辞めてしまって、日雇い派遣で生活費を稼いでいるけど、生活が厳しくて携帯電話代が払えなくなりそうで、どうしたら良いかって相談されたなあ」

山田「しばらく携帯電話を使うのを我慢すれば良いのに…」

井上「それが日雇い派遣の場合、そうもいかないんだよ」

《井上さんの解説》

①日雇い派遣の現状について



②日雇い派遣に関する今後の法改正の見込みなどについて



3. 最後に

井上「今日は、久しぶりに二人に会えてよかったよ」

山田「僕もです。おかげで自分が誰に雇われているのか、よく知らないまま働いていたのに気づきました」

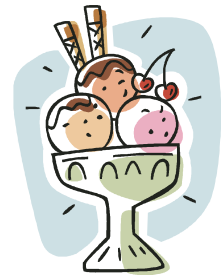
鈴木「私も、パート社員も有給が取れるなんて知りませんでした。他にも、会社の辞め方も知らなかったし。まだまだ社会勉強が足りませんでしたね」

山田「同じ派遣社員でも、日雇い派遣について全然知りませんでしたし、ほんとうに勉強になりました」

井上「私もまだまだ勉強中だよ。仕事といっても、父の手伝いだから、甘えている部分も多いと思うしね。これを機に、また皆で集まろうか」

鈴木「ええ。ボーナスが出たら、今日のお礼に御馳走させてください」

山田、井上「ボーナスかあ。いいなあ…」



「働く」ということは、「生きる」こと